

## 藤島地域が11トン減 25年産米の生産数量目標

鶴岡市農業振興協議

会(会長・榎本政規市長)の臨時総会が30日、グラントエル・サンで開かれ、平成25年産米の生産調整の配分を決めました。

①均等配分について、平成28年産米まで段階的に作付率を全市一律とする。

	配分基準単収(kg/10a)		生産数量目標(トン)			面積換算値(ha)			作付率(%)		
	H24	H25	H24	H25	増減	H24	H25	増減	H24	H25	増減
	A	B	①	②	③= ②-①	④= ①/A	⑤= ②/B	⑥= ⑤-④	⑦	⑧	⑨= ⑧-⑦
鶴岡	601	602	23,806	23,964	158	3,961	3,981	20	65.2	65.6	0.4
藤島	607	608	14,012	14,001	-11	2,308	2,303	-5	67.9	67.8	-0.1
羽黒	573	574	10,156	10,254	98	1,772	1,786	14	64.5	65.0	0.5
櫛引	590	591	6,708	6,787	79	1,137	1,148	11	63.8	64.4	0.6
朝日	550	552	3,189	3,228	39	580	585	5	64.0	64.6	0.6
温海	510	512	1,862	1,935	73	365	378	13	57.1	59.1	2
合計等	591	592	59,733	60,169	436	10,123	10,181	58	65.1	65.5	0.4

※本表は、慣行栽培を基準に作成しているものであり、減収カウント面積を含みません。  
※作付率は、均等配分、傾斜配分を合算した率となります。

### 水稻作付率の調整状況(参考値) 2013.1.30市農業振興協議会

	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	全市
H23	65.5	68.6	64.4	63.5	64.1	55.4	65.3
H24	65.2	67.9	64.5	63.8	64.0	57.1	65.1
H25	65.6	67.8	65.0	64.4	64.6	59.1	65.5
H26	65.6	67.2	65.1	64.7	64.9	60.9	65.5
H27	65.4	66.8	65.3	65.1	64.9	62.5	65.5
H28	65.4	66.1	65.5	65.4	65.2	64.4	65.5

※1. 本表は、均等配分に係る作付率に傾斜配分を加味した作付率である。

※2. 現時点での試算値であり、将来の県からの配分状況等により数値は変動する。

### 大規模加算 2012.01.31鶴岡市農業振興協議会

区分	平野部	中山間部	加算割合(%)				
			H24	H25	H26	H27	H28
区分A	7~10ha	-	1	2	3	3	3
区分B	10~15ha	4~7ha	2	4	6	6	6
区分C	15~20ha	7~10ha	3	6	9	9	9
区分D	20ha~	10ha~	4	8	12	12	12

### 環境加算

加算割合(%)	1	2	3	5	5
---------	---	---	---	---	---

ソバの排水対策加算は同3千円から1万円に引き上げました。中山間地域の設定を見直し、基本助成10万円が中山間地域に設定されれば同2万円となります。新たに加わった中山間地域は、鶴岡地域では湯田川と湯野浜、字船見台のみだった藤沢が全域に。

大豆、ソバの連作障害を回避し、輪作体系の確立と生産向上、農家の所得アップに向けた取り組みが大切です。

### ①大規模加算(JA選)

(2)傾斜配分は、

藤島△0.1%

羽黒+0.5%  
櫛引+0.6%  
朝日+0.6%  
温海+2.0%となり、藤島だけが

### 大豆やソバの産地 資金で生産向上

大豆やソバの生産向上を図り産地形成を目指すとして、「産地資金」についても見直しがされました。

輪作加算は、これまで団地で

え、上乗せ加算として同5千円。

にんじん、さといも、枝豆、馬鈴薯、赤カブが、他の振興作物同様に同1万円に引き上げられ、新たにかぼちゃが加わりました。

平成25年産米の作付率は24年産米と比べ、

率に24年産米と比べ、

なければ該当しませんでしたが、団地要件を除外し、10万円、枝豆の輪作加算は同7千円から1万円に引き上げました。

該当なかった藤島地域は、添川と鷺畑、東堀越のそれぞれ一部が加わりました。



定員 各日先着30名  
参加費 500円(野菜のお土産付き)  
申込み 2月22日(金)まで電話・FAXで藤島庁舎エコタウン室(64・5803 F64・5847)  
(写真は平成24年2月7日の一般公開)

米の作付けが11トン減り、

他の地域は増加します。平成25年産米の全国の生産数量目標は、24年産比2万トン(0.3%)減の791万トン。県内には5210トン(1.4%)増の37万4200トン。鶴岡市には436トン(0.73%)増の6万169トンが配分されました。

野菜の藤島産利用率52.1%(庄内産含め72.5%/24年11月現在)と、センター給食では地場産使用割合が全国トップ水準を誇るサンサンのファンを大きくしたいという願いもあります。

日時 3月5日(火)・12日(火) 正午  
場所 藤島ふれあい食センター・サンサン

地産地消給食を食べてみませんか  
学校給食に野菜を届けているサンサン畑の会(佐藤正会長)主催の「サンサン給食・一般公開」が、3年目となる今年もおこなわれます。「子どもが喜んで食べてくれる学校給食を食べてみたい」「学校で食べた給食が懐かしい」という声に心えようと企画されました。

# 都市計画道路「藤島駅上藤島線」の見直し

都市計画道路「市道藤島駅上藤島線」の見直しについて4日、藤島ふれあいセンターで説明会が開かれました。

同路線は、藤島駅から国道345号バイパスまで、上藤島地内の県道を通らずに藤島シヤリング工場隣地に接続する計画です。

同路線が初めに計画されたのは昭和51（1976）年6月で当初は幅員12m、56年4月に路線変更され、さらに平成6年10月に路線変更及び幅員18mに変更されました。

しかし、反対側の藤島駅笹花線が現在、計画変更により幅員18m

## ◆都市計画道路 藤島駅上藤島線について



起点 鶴岡市上藤島字礎田畑  
(藤島駅前)  
終点 鶴岡市上藤島字上川原  
(国道345号)  
延長 約1,080m

当初決定 昭和51年6月  
第1回変更 昭和56年4月  
(路線変更)  
第2回変更 平成6年6月  
(路線変更及び幅員変更18m)

から12・5mになったことから、12mの幅員に変更するものです。この路線はまだ市の

計画で具体化されていません。住民要望の高まりが求められます。

## 渡辺えりさん（山形市出身）の「私と赤旗」

「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇



去る2月1日はしんぶん新聞創刊85周年であった。記念して著名人の「私と赤旗」が連載中である。2月5日

付に俳優・渡辺りえさんが登場している。私には渡辺さんこんな思いがある。かつてタウン誌『山形散歩』があつて発行人は故栖坂正司さんでした。栖坂さんとある集まりで

一緒になったとき、「いやー、僕は共産党さんのために何もできなく

てね。やったことは渡辺の父からしんぶん赤旗を読んで貰ったことだけだな」と謙遜して言われた。そのことが、渡辺さんが共産党を支援されているきっかけかなと想像しているのである。

渡辺さんは、劇作家・演出家としても縦横の活躍。今、再放送中のNHK朝ドラ「おひさま」の村上カヨ役で好演している。「これからも正義を貫いてほしい。貧しい人や、日本を縁の下で支える人たちが幸福になるよう、ブレずにがんばってほしい。」へ国防軍なんてできたなら、まず殺されるのは政府に反対する国民だと思えます。戦争中に戦争反対を訴えた人は殺されてしまった。その人たちの声無き声をいまに生かさなければ。…へ赤旗には、なぜ安倍首相がそこまでして憲法を変えたいのか、じっくり取材してほしい。」と大きな期待を寄せている。

最近鳴かないんで…」と新聞にありました。

ハト時計は英語ではカッコウ時計、ククウ・クロックです。英和辞典にはカッコウ時計、鳩時計とありますから、カッコウの方も知られてきたのでしょうか。

新聞のは電池式ですが、重りを2つ使っていました。時が来ると模造の鳥が一作り付けのもありますがードアから出て、時の数だけ鳴いたのです。

カッコウ時計は3時になると、ククウ、ククウ、ククウでしょう



## メディアの書庫

前号に、三川町議選での一般新聞報道が選挙結果に大きく影響したと書いている。「安全だ、高位で上がる」と報道された人が落選した。安全だと報道されて気を許す陣営はないから、報道した社では責任を感じないんだろうか。どう決着をつけてくれるんだろう。

▼メディアの害悪についてジャーナリストの鳥越俊太郎氏はある週刊紙に、選挙期間中の一方的な予測報道が有権者を「勝ち馬」に乗せたと書いている。結果、この3年間、ほとんど何もしてこなかった自民党が大勝ちをしたのだという。

▼第3極報道で、正にマスコミの正体みたりとは先に書いた事ですすが、そういう事だったんだと納得した。

が、ハト時計はどう鳴くのでしょうか。ポッポッポでしょうか。

柳田國男の説では、ハトポッポというのはまちがいだそうです。「お寺の庭などで遊んでいるハト」は家バトまたは飼いバトで、「鳴く声は、クウクウというだけ」、「ハトポッポというのは山バト、またはキジバト」といいます。

ハト時計はカッコウの鳴き声をききまちがえたのかもしれませんが、ポッポと鳴くなら山バト時計です。

▼あれほど社会が行き詰まったので、国民は自民党・公明党の政権から民主党を選んだのだから、私としては逆戻りする事は考えられなかったのだ。

▼そこをメディアが仕組んだ事により国民が一方に引つ張られた事になる。大きな金が、新聞・テレビ・ラジオ・週刊紙まで系統的に握っているから、そんな事も出来るという事。

▼メディア全てを特定の者が握っている国は日本以外にはないと聞いた気がするが、政治を変えるよりムズカシイところがあるという事になるのか。

▼国民は、よくよくしつかりしなければならぬという事になるが、毎回押しつけられる報道だから、マ、これもムズカシイか。でも気をつけて見聞きしなければならぬネー。もうすぐ参議院選挙があるから。(石川)

コトバ

カッコウ時計 大沼 浩

「ハト時計のハトが